

# A I インパクト・サミット 高市総理発言案（ビデオメッセージ）

令和8年2月19日

## 1 冒頭

内閣総理大臣の高市早苗です。

A I インパクト・サミットの開催にあたり、モディ首相のイニシアチブに敬意を表します。

## 2 安全、安心で信頼できるA Iエコシステムの共創に向けて

今回のサミットは、A I の変革的なインパクトを、人類全体の利益、包摂的な成長、地球保護に結びつけることを目指しており、日本もその趣旨に賛同します。

A I によるイノベーションを促進し、経済・社会の発展の原動力としていくためには、「安全、安心で信頼できるA I」エコシステムの構築が必要です。特に、情報セキュリティをはじめ、A I がもたらすリスクを最小化しつつ、相互運用可能なエコシステムを共有することが重要です。その鍵となるのが、「信頼性」です。

日本は、このような考えの下、「広島A I プロセス」を立ち上げて、生成A I に関する初の国際規範を策定するなど、国際社会の議論をリードしてまいりました。

今や、グローバル・サウスを含め、60か国・地域が、この理念に賛同し、「フレンズ・グループ」として、「信頼できるA I」の実現に取り組んでいます。

A I イノベーションをリードする世界の名だたる企業も、このプロセスのパートナーです。今回、新たにインドを代表するA I企業が、パートナーの輪に加わりました。

来月、東京において広島A Iプロセス「フレンズグループ」の閣僚級会合を開催します。今回のサミットの成果も踏まえ、充実した議論ができることを楽しみにしています。

「安全、安心で信頼できるA I」エコシステムの実現には、理念や知見の共有にとどまらず、信頼に基づいた国際的な協力を通じて、エコシステムの共創を進めていくことが肝要です。

日本は、こうした考えの下、インドやASEAN諸国、アフリカ、中央アジアをはじめ、グローバル・サウスと共に、A Iエコシステムの共創を進めています。

各国の言語や文化の独自性が反映された信頼できるA Iの開発から、A I人材の育成、共同研究の推進、各国が直面する社会課題に対するA Iソリューションの共創、A Iの安全性の確保など、国・地域の実情に応じたA Iエコシステムの実現に取り組んでいます。

### 3 結語

A I は、私が掲げる成長戦略の要です。日本の信頼性という価値をA Iで再現するため、「信頼できるA I」を創る官民投資を力強く推進していきます。共に「信頼できるA I」の実現に向けて、取り組んでまいりましょう。

結びに、このA Iサミットをできる限り早期に日本でも開催したいと考えています。各国皆さまのご理解・ご支援を賜りたく、よろしくお願いいたします。

本サミットの成功を祈念しております。ご清聴ありがとうございました。